

第11回

街歩き台東散歩

寺と坂の街ほっこり散歩!

Walking in Taito

①歴史と趣ある街並を訪ねる

総距離：4～5km 総時間：1.5～3時間



台東区内には、谷中、入谷、下谷、鶯谷と、「谷」が付く地名が多い。谷の下には川がつきもの。今回は、「旧水路跡」や「坂」、区画整理されていない「路地」など、江戸の風情が残る谷中をめぐる。

①寺町美術館 + GALLERY

ギャラリーとしても使える浮世絵版画美術館

☎ 谷中 7-6-3 ☎ 03-3828-5996 ☎ 平日 11:00～夕暮れ、土日祝 10:30～夕暮れ
☎ 月曜日/美術館入館料：大人 300円、高校生 100円 (貸しギャラリー時は無料)
☎ <http://teramachi-artmuseum.com>

谷中のメインストリート「初音の道」沿いにある、元は剣道場だった面影を残す寺町美術館。展示している浮世絵は、富澤祐三が医業の傍ら収集した300点に及ぶコレクションの一部です。祐三氏亡き後、富澤成美氏(弘前大学名誉教授)の蔵に眠っていた作品群を譲り受け、江戸情緒溢れる谷中で広く一般の方にも浮世絵という芸術文化に触れてほしいと始められた当館では、季節により展示内容も変わり、一時の眼福にあずかれます。



▲生杉板をそのまま使用した館内

②すべす小倉屋 入場無料のアート美術館

☎ 谷中 7-6-8 ☎ 03-3828-0562 ☎ 11:00～17:00/入館料：無料
☎ 月・火・水曜日、年末、整理休館あり(冬期 2～3月、夏期 7～9月)
☎ <http://www.oguraya.gr.jp>



▲黒い建物が目立つ「すべす小倉屋」

谷中の街並に溶け込み落ち着いた建物が「すべす小倉屋」です。享保年間(1716～35年)から1940(昭和15)年まで営業していた小倉屋質店の江戸期質店店舗と、大正期に建てた3階建て土蔵を活用した空間で、平成12年に国の登録有形文化財になり



▲館内のミュージアムショップ

ました。建物の見学や明治・大正・昭和の風俗文化絵画の展示をしているほか、ミュージアムショップでは、絵はがき、様々なクラフト製品なども販売しています。また、小倉屋質店に生まれ育ち、15歳より日本画家・菊池華秋に指導を受けたという伊藤としさんの温かみある絵に、当時の暮らしや文化を見ることが出来ます。

③築地塀(観音寺) “寺町谷中”のシンボリック存在!

観音寺境内の南面を画する延長37.6mのいわゆる練り塀。練土と瓦を交互に積み重ねて築いた上に屋根瓦を葺いたこの塀は、江戸時代に築造されたものです。1923(大正12)年9月1日に発生した関東大震災で一部が崩壊したものの戦災は免れ、その後、小さな崩れが起こるたびに補修され、現在に至っています。国の登録有形文化財に指定されており、1992(平成4)年には「台東区まちかど賞」も受賞、今では「寺町谷中」のシンボリックの一つとなっています。



▲谷中のシンボリック存在の「築地塀」

④岡倉天心記念公園

六角堂をはじめ、トイレ、水飲み場、石碑も六角形!

東京美術学校(現・東京藝術大学)の設立に関わり、日本美術院を創設するとともに、日本の伝統美術の復興にも尽力した岡倉天心の旧居跡を区が公園としたもので、1967(昭和42)年に開園しました。約700㎡の小さな敷地には岡倉天心を記念した六角堂が建ち、堂内には平瀬田中作の天心坐像が安置されています。



▲園内に潜んでいる“六角形”を探してみるのも楽しい!

⑤すし乃池

穴子寿司といえ「乃池」… 谷中とともに育てた珠玉の「味」

☎ 谷中 3-2-3 ☎ 03-3821-3922 ☎ 水曜日
☎ 11:30～14:00(L.O.13:30)/16:30～22:00(L.O.21:30)、日・祝日 11:30～20:00
☎ <http://www.sushi-noike.com>



▲三崎坂沿いにある「乃池」

庶民に愛されるお店にしたいと、ここ谷中に店舗を構えて約半世紀となる寿司の名店「乃池」。谷中は寺町ということもあり、店主で谷中地区町会連合会会長も務める野池さんが、法事やお参りの帰りに、また折りにして持ち帰っても味わえる「穴子寿司」にこだわった寿司店です。今では「穴子寿司といえば『乃池』」といわれるほどとなり、店内はいつも開店と同時に客でいっぱい。店主の野池さんは、「店を売るのはなく、まちと共に育てていき、将来はお客さんの子どもやお孫さんにも来ていただき、この谷中のまちと共に生きていきたい」と優しい笑顔で語ってくれました。谷中を訪れたら乃池自慢の穴子寿司を、是非!



▲名代 穴子寿司 2,500円



へび道(旧藍染川)

台東区と文京区の境目に当たり、元々は藍染川が流れていた場所。水路を地下に埋め道路としたため、くねくねとへびのように折れ曲がっています。へび道沿いには、お洒落なお店もあり、今では散歩コースとしても人気です。(蛇はいません!)



三浦坂

この坂を上った左側に、旧美作国真島郡勝山の大名・三浦氏の下屋敷があったことから「三浦坂」との名が付いたといえます。



谷中のヒマラヤ杉

谷中1丁目にあるヒマラヤ杉。このヒマラヤ杉は、多くの人が行き交う三叉路「みかどパン店」の敷地に立っていて、町内のランドマークとなっています。

⑥指人形笑吉工房 3名以上で、指人形劇も楽しめます!

☎ 谷中 3-2-6 ☎ 03-3821-1837 ☎ 10:00～18:00 ☎ 月・火曜日 ☎ <http://shokichi.main.jp>
指人形劇：大人 500円 (小学生以下は無料)、指人形が描く似顔絵：1枚 1,000円



▲つつい見入ってしまう表情豊かな指人形たち

表情ゆたかで、生き生きとした指人形は、目にした途端、その表情について笑顔になってしまいます。作家の露木光明さんは、趣味で指人形を作っているうちにその魅力にはまってしまったそうで、店内には、様々な指人形やひな壇、そして制作台が置かれています。3人以上集まれば、「笑い上戸」「酔っぱらい」「ウォーターボーイズ」などの楽しい演目のパフォーマンズが楽しめます。また、指人形が巧みに似顔絵をその場で描いてくれます(有料)。



▲作家の露木さん



▲指人形笑吉工房入り口

⑦旧吉田屋酒店(現・台東区立下町風俗資料館付設展示場)

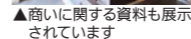
江戸商家の建築様式を今に伝えるミニミュージアム

☎ 上野桜木 2-10-6 ☎ 03-3823-4408 ☎ 9:30～16:30
(入館は16:00まで) ☎ 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始他



▲商家建築の特徴ある行末い

谷中6丁目江戸時代から代々酒屋を営んでいた「吉田屋」の建物を移築したもので、江戸商家の建築様式を今に伝えていきます。明治43(1910)年に建てられた建物は、前土間形式や、腕木より軒桁が張り出している「出桁(だしげた)」、板戸と格子戸の上げ下げで開閉する「揚戸(あげと)」が正面入り口に設けられるなど、江戸中期から明治期にかけての商家建築の特徴が随所に見られます。



▲商いに関する資料も展示されています



みぢやげど(津軽の味を伝えて36年)

☎ 谷中 2-5-10 ☎ 03-5842-1684 ☎ 10:30～16:00、18:00～22:00
☎ 土・日・祝日 ☎ <http://www.k2.dion.ne.jp/~yumeko/mijagedo/>

「みぢや」とは台所を、「げど」は街道を意味していると教えてくれたのは、青森県弘前市で十九代続く旧家の長女として、幼いころから津軽伝統の節句料理の手ほどきを受けた女将の北澤美枝さん。取材時には、料理や愛する郷土の話の快く語ってくれました。お昼は「津軽そば+小鉢」のみで、夜は津軽尽くしの季節コースの料理と、お酒は津軽の地酒。コース料理では、弘前で育てられた鴨を使った「鴨鍋」や、これからの季節には「真鰯のじょっば汁」がおすすめで、このほかに5品程度の料理が付きます。ぜひ、津軽の味をご堪能ください。



▲絶品の鴨鍋 ▲お昼の津軽そば

【夜のみ 要予約】(お問合せ・ご予約は、電話にて) ※お子様向けのご用意とカード利用は不可

⑧上野桜木あたり「KAYABA BAKERY」

新しく懐かしい!日本らしい趣のある複合施設

☎ 上野桜木 2-15-6 ☎ 03-5809-0789 ☎ 8:00～19:00
☎ 不定休 ☎ <http://uenosakuragiatar.jp>

谷中霊園にほど近い上野桜木2丁目に、昭和13年に建てられた3軒の古民家をお店やギャラリーとして活用したスペース「上野桜木あたり」が2015年3月にオープンしました。敷地の一番奥にある「KAYABA BAKERY」では、食パンや菓子パンなど定番の人気商品のほか、七味やゴマなど日本の食材を活かしたパンの販売。また13年には、同じ敷地の「谷中ビアホール」とともに新潟県新発田市の野菜を使った新メニューを展開します。他にも塩とオリブの専門店、雑貨や衣類のショップなどが軒を連ねる「上野桜木あたり」。通いから少しいった、どこか懐かしい場所に立ち寄ってみませんか?

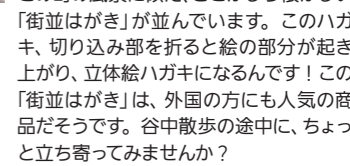
▲上野桜木あたりの「みんなの路地」



▲店内に並ぶ「街並はがき」

☎ 谷中 5-9-22 ☎ 03-3827-0607
☎ 10:00～18:00 ☎ 基本なし

「初音の道」を歩いていると、ちょっと寄ってみたい小さなお店「榎本屋」があります。店内には、この町の風景に似た、どこかしら懐かしい「街並はがき」が並んでいます。このハガキ、切り込み部を折ると絵の部分の部分が起き上がり、立体絵ハガキになるんです!この「街並はがき」は、外国の方にも人気の商品だそうです。谷中散歩の途中に、ちょっと立ち寄ってみませんか?



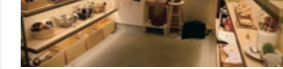
▲店内に並ぶ「街並はがき」

亀の子菓子 谷中店



▲「亀の子菓子 谷中店」の入り口

くねくねと折れ曲がっている「へび道」を歩いていると、白くておしゃねな建物が目に入ります。お店の入り口には「杉玉?」とも見紛う大きなたわしが!? ここは世界初のたわし専門店、亀の子菓子西尾商店のアンテナショップなのです! 店内には、存在感のある昔ながらの亀の子菓子はもちろん、素材や形の異なるたわしもたくさん取りそろえられています。他に、「亀」のロゴ入りトートバッグやたわし・キーホルダーなども! お店の方は商品説明も丁寧で、素材へのこだわりと温もりを感じさせてくれます。へび道散歩の途中には是非お立ち寄りください。



▲店内のディスプレイもおしゃれ

☎ 谷中 2-5-14-C ☎ 03-5842-1907 ☎ 11:00～18:00
☎ 月曜日(祝・休日の場合は翌日)
☎ <http://www.kamenoko-tawashi.co.jp>

KAYABA BAKERY
本クーポン提示でお会計時 10%割引
本クーポン1枚で1名様1回限り利用不可
クレジットカード使用不可
2015.12月末まで有効

喝采と歓喜の舞台へ。ショーレストラン 東京ラプソディ
1st Stage OPEN 12:00 / START 13:00
2nd Stage OPEN 15:00 / START 16:00
3rd Stage OPEN 18:30 / START 19:30
ご予約・お問い合わせ 03-5246-4891
www.tokyo-rhapsody.com
東京都台東区浅草1-10-5 KN浅草ビル7F